

2015年度 人権 NPO 協働助成金 交付先

※下記の内容は申請書に基づいて事務局が抜粋加工させていただいております。

※内容につきましては、取り組みがすすむ中で変更が生じることがございます。

一般財団法人大阪府人権協会

団体名	プロジェクトコンストイ ル	マイノリティーアートプロジ ェクトチーム	NPO 法人三島コミュニティ・ アクションネットワーク	NPO 法人西淀川子どもセンタ ー
重 点	当事者のつながりづくり	ユニークな啓発・広報活動	ユニークな啓発・広報活動	持続可能な活動の仕組みづく り
企画名	ブラジルにルーツをもつ子 どもの居場所づくり事業	マイノリティアートフェスティ バル～マイノリティがアー トと出会うとき富田林編～	三輪自転車を活用したコミュ ニティ活性化事業	「よっしゃ！ほっとかへんで」 ～地域の子ども個別支援準備 事業～
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府内のブラジル人は 点在に暮らす。子どもたち は、学校でのいじめや差別 的言動、違和感を持ちなが ら通学している。その保護 者も地域社会から孤立して いる。 ・ブラジルに帰国する子ど も。 ・新中学3年生となる子ど もの進路 	被差別部落出身者、ひきこも り、セクシュアルマイノリテ ィ、外国にルーツがある人、 障がい者などマイノリティ同 士が相互理解する場が少な い。	茨木市三島地域においては、狭 小な道が多く、最寄りの駅も路 線バスのバス停もなくタクシ ーの往来の少ない地域である。 一方、より高齢化（独居高齢者 など）がすすみ、いわゆる「買 い物難民」「福祉や行政サービ スを控えてしまう」「地域から の孤立化」など地域課題が生ま れてくることとなる。	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待通報などで要観察状態の 親子、ひとり親家庭の親の就職 活動、親の病気や事故、疲労や 不和などでの養育困難などの 課題がある。 ・身近な場での相談や生活支援 が必要になっている。
目 標	国内、帰国した友達、海外 にいるブラジルにルーツが ある子どもとの交流による アイデンティティーをはぐく む。 希望する高校への進学。 閉じこもりがちな保護者の 社会参加。	アートによる相互理解を通し て、マイノリティの連帯とエン パワメントをはかる。 新たにマイノリティの連帯と 交流の場をつくる。	「井戸端会議」による地域住民 のコミュニティの活性化。 地域団体や事業所、お店などか らの協力や宣伝依頼を受ける ことで地域の活性化。 地域での就労の機会の提供。	地域の民間団体による子ども 支援の役割を、行政や学校が協 働体制として取り組む必要性 と可能性をより切実に認識す ること。若いボランティアの人 権概念が深まること。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・日系ブラジル人の歴史、 ブラジルの文化に触れあう イベント ・親と子ども、日本、ブラ ジルや海外にいる仲間たち との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・アートの担い手講座 ・フィールドワーク ・アートフェスティバルの開催 （参加予定：ひきこもり、セ クシュアルマイノリティ、外国 にルーツがある人、障がい 	<ul style="list-style-type: none"> ・三輪自転車を利用した送迎サ ービスを実施。 ・まちづくり学習会 ・関係者会議 ・周知登録活動 ・自転車の運転講習 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備学習会/若手スタッフ養 成 ・個別支援のモデル実習 ・報告シンポジウム

	<ul style="list-style-type: none"> ・高校受験合格プロジェクト 	者など) <ul style="list-style-type: none"> ・制作過程をドキュメント映像で記録し発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・車体への広告・宣伝活動 インターネットラジオを通じた情報発信	
協働	同じような活動の団体やグループ、個人との交流 絵画やワークショップ等の専門家のボランティアの紹介 勉強会でのボランティアスタッフの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・マイノリティのアーティストや専門家、講師の方の紹介。 ・広報と相談 	広報、人材派遣、運営の適正化へのアドバイス	ボランティアスタッフのため の人権研修への協力 シンポジウムの際、各地への周知